

令和6年第3回臨時会

# 江東区教育委員会会議録

令和6年8月15日（木）

江東区教育委員会

## 令和6年第3回江東区教育委員会臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和6年8月15日（木）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和6年8月15日（木）午前11時38分
- 3 開会場所 江東区教育センター 大研修室
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、本田和恵（教育長職務代理者）、  
安部敏啓、鈴木清人、浅野美智子
- 5 出席職員 青柳教育委員会事務局次長、  
梅村教育委員会事務局参事・深川図書館長事務取扱、瀧澤庶務課長、  
西尾学校施設課長（整備担当課長兼務）、佐久間学務課長、  
金指指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、  
木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、大田地域教育課長、  
吉木江東図書館長

### 6 協議事項

- (1) 令和7年度中学校教科用図書採択について

### 7 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和6年第3回江東区教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の会議について傍聴したい旨29名の申出がありました。江東区教育委員会傍聴規則第3条では、傍聴人の定員は5名と定められているところではありますけれども、同規則第9条に基づき、本日は定員を75名といたします。傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

（傍聴人入室）

本多教育長 傍聴人の方にお願ひ申し上げます。

教育委員会の規則では傍聴人は5名と定められているところではありますけれども、本日は定員を75名とさせていただきました。本日、傍聴の申出がありました方々は75名以下ですので、全ての方に傍聴していただいております。教育委員会では、教科書採択の議論を静ひつな環境の下で行いたいと思いますので、どうぞ皆さんの御協力をお願い申し上げます。

また、会議の秩序を乱し、議事の妨害となるようなことがあった場合につきましては、教育委員会傍聴規則に基づき、傍聴人に退場を命じることとなりますので、御留意をお願い申し上げます。

それでは、本日の会議録署名委員を御指名いたします。本田委員、安部委員にお願い申し上げます。

それでは、審議に入ります。

協議事項1 令和7年度中学校教科用図書採択についてを議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に係る公正な選定、採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については採択が終了した後に情報公開に付すことにいたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、御異議ありませんので、進めてまいります。  
それでは、本案について、事務局から説明願います。  
指導室長。

金指指導室長 それでは、本日の教科書採択の流れについて御説明いたします。

今回の教科書採択では、令和7年度から10年度の4年間、中学校・義務教育学校後期課程で使用する教科書について御審議いただき、採択していただくこととなります。

まずは資料1「中学校教科用図書教科別発行者一覧」を御覧ください。今回の採択対象となる教書発行者を資料に示しております。丸印がついております発行者が採択対象となっており、二重丸をつけております発行者は、現在使用されている発行者であります。

ここに示された採択対象となる全ての教科書についての詳細な研究と採択資料作成委員会での審議の結果をまとめて教育委員会で提出されたものが資料2「江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会 結果報告書」でございます。教科書の種類ごとに1枚にまとめられておりますが、この後、委員の皆様には教科ごとに御審議いただきます。各教科の冒頭に、私から採択資料作成委員会で話題になった主なポイントについて、お伝えさせていただきます。

なお、この採択資料作成委員会結果報告書の基になった資料については、資料3「教科書調査研究資料(中学校)」、資料4「編修趣意書」、資料5「江東区立学校教科用図書調査研究結果」、資料7「教科書展示会で寄せられた意見などについて」(一般)、資料8「教科書展示会で寄せられた意見などについて」(区立学校教員)、以上の5点でございます。

続きまして、資料3「教科書調査研究資料(中学校)」には、東京都教育委員会で行いました調査研究内容がまとめられております。

資料4「編修趣意書」は、教科用図書の編修の趣意について、各発行者が記述したものを集録したものでございます。

資料5「江東区立学校教科用図書調査研究結果」は、各教科、発行者

ごとに本区の調査部会の委員が5月の中旬から6月の中旬にかけて詳細な調査研究を行い、その結果をまとめたものでございます。

続いて、資料6「令和6年度教科書展示会来会者集計表」でございます。本区では、教科書展示会を5月31日から6月30日まで江東区の教科書センターで開催いたしまして、203名の参加がございました。

また、区立学校4校で、具体的には6月24日から7月4日まで深川第七中学校、第三亀戸中学校、第二南砂中学校、有明西学園で区立学校教員を対象に教員展示会を実施し、実施校及び近隣校の教員が参加いたしました。さらに、6月2日から27日までは江東図書館、深川図書館で、6月29日から7月4日までは豊洲図書館、城東図書館で展示会を実施し、より多くの方々に教科書を見ていただけるようにしました。ここでいただきました区民・一般の方の意見をまとめたものが資料7、「教科書展示会で寄せられた意見などについて」（一般）、資料8、「教科書展示会で寄せられた意見などについて」（区立学校教員）でございます。

本日は、国語、書写、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育について、今回は、社会（地理的分野、歴史的分野、公民的分野）、地図、技術・家庭（技術分野、家庭分野）外国語、特別の教科道徳について御審議いただきます。

なお、本日は教科書の見本も御用意いたしましたので、併せて御覧いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

本多教育長 指導室長からの説明にもありましたけれども、本日は、国語、書写、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育について御審議いただき、その他のものは次回の教育委員会で審議することといたします。

それでは初めに、国語について審議いたします。委員の皆様におかれましては、国語の教科書の準備をよろしくお願い申し上げます。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 国語科においては、言葉による見方・考え方を働かせ、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」、「読むこと」などの言語活動を通して、社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする資質・能力を育成することを目指しています。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①国語スタンダードについて、②思考力を高める教材について、③俳句教育について、④目標や振り返りの設定について。

以上であります。

本多教育長 それでは、国語について審議していきたいと思います。御意見がございましたら、挙手をお願いいたします。

安部委員。

安部委員 生徒が主体的に学習に取り組むには、どんな学習をするのか、どのような力を身につけるのかを意識できることが重要ではないかと思います。その点では、どの教科書も巻頭にて、その学年でどんな学習を行い、どんな力を身につけるのかが示されていて、いいなと思っています。

各社とも領域別の身につけたい力が示されていますが、東京書籍と光村図書出版は全ての領域を見開きで一度に見ることができます。さらに光村図書出版は、そのページで他教科やSDGsとの関連が示されているので、国語と他教科を関連させた学習を行う際に有効ではないかと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。確かに教科書の前のほうでしっかりと示されていたと思います。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 光村図書出版には、「主体的な学びのために」というページがあって、とてもよいと思います。特に1年生の教科書では、「言葉に出会うために」というページが続きますが、小学校で学んだことがまとめられています。小学校で学んだことが中学校へつながっていることが子どもたちにとって分かるようになっていて、よく工夫されているなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。12ページですね、「主体的な学びのために」というページが確かにございまして、その後、続いているということです。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、学習の目標がしっかりと示されている教科書は、生徒にとって学びやすいと思います。全社とも1年生で学習する「少年の日の思い出」を例に挙げて御説明したいと思います。東京書籍は190ページ、三省堂は206ページ、教育出版は246ページ、光村図書出版は206ページになります。

学習の見通しという点では、各社を見比べてみますと、三省堂と光村図書出版は、文章の前に目標を示された上で、文章の後にも、この単元

の学習の目標や学習課題などが示されています。文章を読む前に目標をきちんと知ること、何のための読むのか、学習の見通しを持つことができますし、そして、文章を読んだ後に、改めて目標を確認した上で、学習課題に取り組めるようになっているので、これはとてもいいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。最初だけではなく最後までというところは、確かに工夫かなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私は2年生で学習する「走れメロス」を比べてみたんですけども、授業でどのようなことを学んだか振り返る、その振り返り方も細かく見ると、各社に違いがあるなと感じました。

三省堂は、振り返りをする際の「振り返りのキーワード」が示されていました。そして、「学びを広げる」として、この話を映画化するとしたら、どんなキャッチコピーをつくるかという活動が設定されていて、自分の考えや思いを表現する力を高めることにつながるかなと感じております。

そして、光村図書出版の振り返りは、「知る」、「読む」、「つなぐ」という3つの観点が示されていました。具体的に観点が明確に示されているので、振り返りがしやすいのではないかなと感じます。

本多教育長 ありがとうございます。今、「少年の日の思い出」と「走れメロス」が話題に出てきたんですが、両方とも全ての社が取り上げていて、伝統的に記載されている教材ですね。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 光村図書出版の振り返りがあるページですね、国語2の221ページを見ますと、「学びのカギ」として、この単元の学習に関するポイントをどこで学習したのかが分かるようにページが示されていて、系統的に学べるようになっていと感じました。これがあると、生徒自身でこの単元で学んだことと今までに学んだことを結びつけたり、振り返ったりすることができるので、とても有効だと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。「学びのカギ」、確かにありますね。

これまで、生徒の学びやすさとか、様々な御意見をいただいたところでありますけれども、別の視点でも構いません、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 江東区は松尾芭蕉ゆかりの地でもありまして、俳句教育にも力を入れています。ですので、国語スタンダードにも、「季節を感じ、俳句に親しみます」という項目があるかと思います。

そういう意味で、教育出版は、各学年に「四季のたより」というページがあって、季節を感じさせる俳句が写真とともに掲載されています。

光村図書出版も、各学年に「季節のしおり」というページがあって、季節を感じる言葉とともに、俳句等が掲載されているのが光村図書出版だけかなと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。確かに工夫がありますね。「季節のしおり」、「季節の言葉」など、季節を感じられればなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 俳句教育ということ言うと、各社とも3年の教科書に松尾芭蕉の「おくのほそ道」が掲載されています。この中に、芭蕉の旅の地図が載ってまして、他の3社は出発点を「江戸」と表記していますが、光村図書出版は出発点を「深川」と表記しています。江東区の子どもたちは、芭蕉の旅がここ江東区深川を出発したということを学んでほしいと思いますので、江東区にとってはとても大事にしたい点ではないかなと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。この部分については、前にも話題になったことがあるんですけど、私も実際に現場に行って、この授業をしているところを見たことがあるんですけど、デジタル教科書の画面をモニターに映してやっていたんですけど、そこにも「深川」と書いてあって、確かにそういうふうにあると、子どもたちが身近に感じられるなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、国語については光村図書出版が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒の主体的な学びを促す工夫があること、生徒が学びやすい教科書の構成になっていること、俳句教育との関連を図りやすいこと、以上の3つの理由により、光村図書出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、国語については光村図書出版を採択することといたします。

それでは続いて、書写について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては、書写の教科書の御準備をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 書写の学習は、国語科の指導時間の中で行われております。第1学年及び第2学年では年間で20時間程度、第3学年では10時間程度実施することとなっております。

また、書写の学習において、「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力や学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること」となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①毛筆の学習と硬筆の学習の関連について、②日常生活との関連について、③資料の使いやすさについて、④毛筆の筆遣いの学習について。

以上であります。

本多教育長 それでは、書写について御審議いただきたいと思います。御意見がございましたら、よろしく願いいたします。

安部委員。

安部委員 私は、書写の時間はちょっと少ないなと感じているんですが、それでも、とても大切なものだと思っています。時間数が少ないからこそ、学ぶ意味や見通しを持ったりすることができる教科書がいいなと思います。

教育出版の12ページに大きな木のイラストがありまして、ここは書写の学習を通して学んでいくことが示されていて、見通しが持てるなと感じています。

東京書籍の表紙を開けたところに、「文字を『書く』ってなんだろう」と、こちらもとてもインパクトがあるなと感じています。

光村図書出版は、巻頭に「中学校書写スタートブック」というページがありまして、そこにはQ&Aの形で、正しい姿勢や持ち方で書くことと、毛筆学習はなぜ行うのかなどが示されていて、いいなと思いました。タブレットを使うときの姿勢について示されているのも、今の子どもたちに合っているように感じます。

本多教育長 ありがとうございます。それぞれ工夫されていて、両方とも確かにインパクトのある工夫であったり、現代的な学習ですよ、タブレットを使う姿勢だったり、工夫があるのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 東京書籍についてですが、「書写のかぎ」として、学習のキーワードが示されています。28ページを見ると、行書で書くときのポイントが2つ示されています。

光村図書出版は、今の教科書では「学習の窓」としているものを「学びのかぎ」として、キーワードを示しています。これは前より分かりやすくなったと思います。これを見れば学習のキーワードが一目で分かるので、子どもたちにとっても学びやすいのではないかと思います。

また、三省堂ですが、右下の目標やその学習で気をつけることが明記されています。これも目標を意識しながら学習ができるので、よい企画だと思います。

本多教育長 ありがとうございます。それぞれのページに書かれていること、今回は学習の見通しのことについてのお話でした。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 こどもの使いやすさということでは、教科書の大きさが大切かなと思いました。

教育出版は、少し大きいサイズです。書写の時間は、教科書だけでなく、習字の道具も机に準備しますし、端末を使うこともありますから、あまり大き過ぎないほうがよいのではないかなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。生徒の学びやすさとか、今、机の上に出して使いますので、話も出ましたけれども、確かに、いろいろと机の上に置いたりするので、そこも大事な視点なのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 書写、特に毛筆は小学校3年生からだと思うんですけども、筆遣いはしっかり身につけていないと、うまくならないなと考えます。そういう意味で、それぞれ工夫があっただけいいなと思ったのは、東京書籍の10ページを見ると、「とん」、「すう」、「びた」などの擬音で、基本の点画の書き方について書かれているのがすごく分かりやすいですね。

そして、教育出版の16ページでは、筆圧の強さ、「1の力」、「2の力」、「3の力」と数字で表していました。

そして、光村図書出版の41ページを見ると、始筆を「トン」、送筆を「スー」、終筆を「トン」と、やっぱり擬音を使って示すということ

と、筆圧の強さも数字で1から3と説明していて、筆運びだったり筆圧を理解するには、すごくいいなと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。今、筆遣いの話がありましたけれども、私も指導してきた経歴の中で分かりますけど、すごい大事なんですよ。実際に筆で黒い墨で書きますので、よく分からないんですけど、上手に赤い墨を使って、今、教科書では工夫していますけど、始筆、送筆、どういうふうに入れていくかとか、力とか、すごい大事な視点かなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 特徴的なところで言うと、光村図書出版には、取り外せる「書写ブック」というものが付録されています。他の3社は教科書に直接書き込んで練習できるようになっているんですが、この「書写ブック」は教科書とは別に取り外して使用できますので、活用の幅が広がるかなと感じています。毛筆で学習したことを硬筆に生かすという観点からも、とても有効ではないかなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。確かに特徴的なところかなと思いますね。実際に今、安部委員がおっしゃいましたけれども、書写で学んだことをどう生かしていくか、とても大事な視点なのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、書写については光村図書出版が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が学びやすい教科書になっていること、基礎、基本が習得しやすいこと、毛筆で学習したことを硬筆に生かす学習を図りやすいこと、以上の3点により、光村図書出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、書写については光村図書出版を採択することといたします。

それでは続いて、数学についての審議をいたしますので、委員の皆さんにおかれましては、数学の教科書の御準備をよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 数学科においては、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となったポイントは、①主体的な学習について、②数学スタンダードについて、③こどもの使いやすさについて、④教員の指導しやすさについてであります。

以上であります。

本多教育長 それでは、数学について御審議いただきたいと思います。御意見がございましたら、よろしくお願ひいたします。

安部委員。

安部委員 こどもが主体的に学習を進めていくためには、学習の見通しを持ち、こども自身が数学の学び方を理解して学習を進めていくことが大切です。各社とも、こどもが見通しを持って学習に取り組めるように、学習の目標や目当て、数学の見方・考え方などが掲載されています。

その視点で見ますと、東京書籍では、「大切にしたい数学の学び方」というページで、数学の考え方や学び方について、吹き出しやイラストを使っています、分かりやすく説明しているように感じます。

大日本図書では、巻頭に見開きページで「数学の世界へようこそ」として、問題解決学習の学習過程を大きく示しています。東京書籍同様、こども自身が学習の見通しを持ち、主体的に学習を進めていくことができるよう配慮されているなど感じました。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 こどもが主体的に学習を進める上で、ノート書き方も大切ですね。各社、ノート書き方について、ノートに書く内容が分かりやすいレイアウトについて、具体的に示されています。

例えば、啓林館では、実際のノートの書き方の例が幾つも載っていて、分かりやすいです。

東京書籍は、自分の考え方だけでなく、友達の考えや大切だと思ったことを書きましようとなっていて、いいですね。1ページに簡潔にまとめられていて、分かりやすいです。ノートを工夫して書くことで、新しい学習をするときや復習をしたいときに役立つと思います。

本 多 教 育 長     ありがとうございます。今、主体的に学習に取り組むことということでの視点、幾つか御意見をいただいたところです。最初の学習の見通しが持てるような記載であったり、今御指摘があったノートの使い方ですね、こういったことというのも非常に大事で、コロナ禍を通じて、子どもたちが自分でしっかりと主体的に学んでいくということはすごい大事なことだと改めて見直しているところですけど、ノートの記載の仕方という部分では、今、御指摘があった両社、非常に工夫があるのかなと思いました。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員     本区の「こうとう学びスタンダード」にある数学スタンダードを定着させていくためには、図や式、言葉で考えを説明できるようにするということがとても大切だと思います。

各社とも図や式で説明する場面が想定されているんですけども、学校図書や日本文教出版では、話し合いという形で、図や式、言葉で考えを伝え合う場面を設定していて、数学だけではない、いろいろな観点に役立てられる内容だなと感じました。

以上です。

本 多 教 育 長     ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員     今の本田委員のその視点でいいますと、東京書籍では、図や式を使って説明させ、1つの求め方ができたら、違う方法で考えて説明してみようと促しています。多様な考えを引き出すことにつながると感じました。図で説明できた人は式で考えてみたり、友達と協働的な学びの中で新しい考えを知ったり、学びが深まりそうです。図や式、言葉で考えを説明する場面を設定する中で、こうとう学びスタンダード定着の調査での課題に迫っていききたいなと感じています。

本 多 教 育 長     ありがとうございます。図や式を使って説明するというのはすごく大事にしまして、小学校のスタンダードもそうですけど、ただ何かを覚えて練習をするのではなくて、実際に自分で図や式を使って説明することによって、かなり理解が深まるということがありまして、そこは数学スタンダード、算数スタンダードをつくる時、非常に重要視して取り組んできたところで、まさに授業改善の視点でもあるところであります。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 数学は、学習した内容を積み重ねていくことが大切だと思います。そのため、基礎的・基本的な内容などを本区で推進している「数学スタンダード」をしっかり身につけることができる教科書がよいと思います。

「こうとう学びスタンダード」で重視していることの一つとして、幼児期から中学生までの「学びの接続」があります。1年生の教科書を見てもみますと、各社共に目次や巻頭・巻末で、小学校で学習した内容と中学校で学習する内容のつながりについての掲載が見られます。

特に東京書籍は、1年生の最初の章が「0章 算数から数学へ」と設定されているので、小学校と中学校のつながりを意識しながら、こどもたちは学習をスタートできるのではないかなと思いました。

教育出版も、1年生が学習する「正の数・負の数」や「文字と式」の前に小学校で学習したことを振り返る問題を掲載していて、段階的に中学校での学習がスタートできるように配慮されている教科書だと思います。

本多教育長 ありがとうございます。数学スタンダードの視点で、今、幾つか御意見をいただいておりますけど、今、鈴木委員がおっしゃった接続の部分ですね、これは各社共に、当然やらなければいけない工夫が様々されているところですけども、今紹介があったところについては、確かに細かな分類ですよ。東京書籍の「0章 算数から数学へ」とはっきり打ち出しているところなんていうのは、こどもたちにとっても明確に分かりやすいところなのかなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 習熟度別学習というのをどちらも取り入れていて、こどもたちの学習のペースなどに応じた授業を行っていると思います。数学は得意、不得意が大きい科目だと思うので、それぞれのこどもの状況に応じて、基礎的な内容に取り組んだり、そしてもっと発展的な問題に取り組んだりできる教科書がよいのかなと思っています。そういう意味では、発展的な内容についても、各社、いろいろな工夫がされているなと思いました。

例えば教育出版や日本文教出版、大日本図書、日本文教出版、教育出版では、巻頭に発展マークというのを紹介していて、学年で学習する範囲を超えた内容であるということが示されていました。

そして東京書籍では、発展的な内容が全てのこどもたちの学習対象としなくてよいということが丁寧に説明されているので、保護者としても安心するのかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。こどもの習熟度、数学の場合はいろいろと出てくるところもあるので、各学校共に習熟度別の指導をしているところですが、基本的なことを習熟させるために、振り返るとか戻るといふこともありますが、今御指摘があった発展というのは非常に重要で、それを両方やっていく。しかしながら、保護者に対する説明、そういった部分も大事かなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、皆さんのこれまでの御意見を伺ってきましたけれども、数学については東京書籍が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 よろしいでしょうか。

それでは、これまでの意見を整理しますと、生徒が主体的に学習に取り組める工夫があること、数学スタンダードにおける課題の解決につながることで、個に応じた学びにつながることで、以上3つの理由により、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、数学については東京書籍を採択することといたします。

続いて、理科について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては、理科の教科書の御準備をよろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 理科においては、「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①教科書の大きさについて、②生徒の興味・関心を高める資料について、③実験に関する資料について、④単元における学習の流れについて。

以上であります。

本多教育長 それでは、理科について御審議いただきたいと思います。御意見がございましたら、よろしくお願いいたします。

安部委員。

安 部 委 員 1年生の教科書の巻頭を見ますと、各社とも探究的な学習の進め方が掲載されています。これは子どもたちにとっても、先生方にとっても、とても分かりやすく、いいと感じています。

特に学校図書を見ますと、「考察」の後ろに「ふり返り」、「伝える」、「次の気づき」と続いています。

東京書籍は、「ふり返り」と「活用」を位置づけています。

各社共に工夫していますが、学習につなげ、広げていくことまで記載しているのは、とてもよいと思いました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、探究的な学習活動を進めていくということについて御意見があったと思うんですけども、これはすごい重要なところでして、小学校でもそうですけど、今、理科の学習、実はほかのところもそうですけど、探究的な学びをしていくことがすごい大事で、特に理科は、様々な実験・観察、それを探究的にしていくというのは、これは今回の学習指導要領で大きくこういう流れでできてたところもありますが、教科書の中に、今御指摘のあったような、どういうふうに進めていけばよいかという記載があるというのは、確かにすごい大事なことです。今、安部委員からもありましたけれども、これは子どもにとっても、指導する先生方にとっても、こういったことが明確になっているということは、すごい大事なことです。理科の授業、今まで、これを実験をしますよと、実験するということだけに追われていたかもしれませんが、今、子どもたちは、きちんと課題をつかんだ上で、予想を立てて、実験を考えて、それを結果と考察に分けてやっている。さらに安部委員から御指摘があったように、考察で終わらないで、さらにつなげていく、これは実は理科の中ではすごい大事なところで、理科嫌いとか理科離れと言われているところがありますけれども、やっぱり学習したことが自分の生活とつながっていくんだという、つなげていくんだという視点はすごい大事なところなので、今、いい視点をお話いただいたかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 今、実験のお話が出ていたんですけども、実験を行うときは、小学校もそうですけれども、改めて安全に気をつけてほしいなと思っています。安全についての記載を見てみると、1年生の教科書には、各社とも「理科室のきまり」であるとか「理科室の使い方」として、安全に実験や観察を行うためのページがあります。

教育出版、東京書籍、学校図書では「応急処置」についても書かれて、もしものときの心構えができて、いいかなと思いました。

教育出版では、よくない例も図で示されているので、分かりやすいと

感じます。

そして、東京書籍はイラストも分かりやすい。「やってはいけないことの三原則」と示されていて、一貫した指導がしやすいのではないかなとも感じます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、安全についてお話がありましたけれども、理科をやっていく上で非常に重要ですね。それぞれ実験の内容によって危険度って違ったりするんですけども、どの実験でも共通して、生徒たちがきちんと理解して、自分で安全に対して考えて取り組んでいくということはすごい大事でして、どの社も「理科室のきまり」というのが記載されているんですけども、今、本田委員からあったように、多少、工夫の仕方が違っているところがあります。最近のこどもたちは本当にしっかり安全について、先生方から御指導いただいていることもあるんですが、イラストを見ると分かるように、ゴーグルをしっかりつけたり、当然、机の上に余計な物は置かないとか、そういったことは基礎的なことではあるんですけど、今あった、でも、何かあったときの応急処置とか、確かにそういったことを事前に知っておくということはすごい大事で、特に慌てないというか、先ほどもありましたけれども、そういったこともすごい大事ではあります。理科室の机というのは、すぐ、ぱっと火がついても大丈夫なようにできていますけど、慌てないことが大事ですよ。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、実験・観察の後のまとめ方について見てみました。実験をやった終わりではなくて、しっかりまとめをすることによって定着すると思っています。3年生の「電流が流れる水溶液」の実験のまとめ方を見比べてみますと、大日本図書は写真で結果が示されています。啓林館と教育出版は「私のレポート」として、レポートの一部が例として示されています。東京書籍では、「レポートの書き方」として1ページを使って実験で書くレポートについて、書き方のポイントが詳しく説明されています。「まとめ」が重要であることが感じられて、大変よいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。今、レポートの書き方のお話だったと思うんですけども、私も教科書を細かく見たんですけど、すごい大事なところでして、こどもたちが実験して、それをどうまとめているか。今、端末があるので端末をうまく使っていくということもあるわけですけども、レポートとしてまとめるときに、どういう内容にしていくかとい

うのは、とても参考になるのかなと思います。そのポイントとしては、これはどの単元のときにレポートの書き方の指導をしているのかというのがすごい大事でして、今、鈴木委員からもありましたけど、教科書のどの位置にあるかって、重要ですね。学習内容、単元の並び方というのは教科書会社によって少し違ったりするところはあるんですけど、例えば学年の初めの頃の単元のところでレポートのまとめ方があると、年間通して、そこからずっと使っていくということもできるのかなと思います。各社それぞれ工夫しているところで、多分その辺のところも考えて工夫されているところもあるのかなと思いながら、細かく教科書を見てきたところではあります。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 中学校では3年生の進路の選択に向けて、1年生から段階的に進路指導というものは行っていくかと思います。授業の中でも、職業などの話題を出して、学習が将来につながればいいなと思っております。そういう点で考えると、各社、学習内容と関連させて、職業について考えられるような資料が掲載されているのがいいなと思っています。

例えば啓林館は「お仕事ラボ」、大日本図書は「プロフェッショナル」、東京書籍は「お仕事図鑑」というような感じで、トピックとして取り上げています。将来の職業について考えるきっかけになるのではないかなと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。これも私が先ほど言った理科離れとかということとつながりがあって、実際に学んだことを元に職業に生かすという、そういった部分も各社では工夫しているところなのかなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、江東区の関連について見ました。3年生の「電池を学ぶ」のところに、「有明の水素ステーション」などを掲載している会社が2社、「水素バス」を江東区として掲載しているのが1社ありました。

学校図書の146ページには、見開きに大きく有明の水素ステーションが載っています。

東京書籍の63ページにも、水素ステーションが載っています。

教育出版の42ページは、「燃料電池を利用したバス」として、江東区で撮った写真が掲載されています。

子どもたちにとって、江東区のことを教科書に載っていることは、学習内容を身近に感じる事ができて、よいことだと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、浅野委員から、江東区に関わることでお話がございましたけれども、この水素ステーションの写真はいいですよ。様々なところに写真として使われてきていますけれども、江東区はゼロカーボンシティを宣言しているところでもありますので、こういった部分での工夫をしているところがまさに取り上げられるというのは、子どもたちにとってもいいことだなと思います。この写真、すごいよく見ると、僕は分かるんですけど、有明西学園があります。子どもたちにとって身近なことが話題になっているのは、とてもいいかなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 東京書籍さんの1年生は、表紙からいきなり生徒が反転している感じの表紙で、何でこうなっているのと、いきなり表紙から訴えてきてくれているんですね。ページを開いても、また、水に入ったコップで反転している女子ですとか、スプーンに映る写真というんですかね、映像が載っていて、「あなたのはてなはどんなはてなですか」となっている点などは、最初から何か面白そうだなと思わせてくれて、主題となっているポイントの生徒の興味・関心を高める資料というものにはちょっとつながるのかなと思って、僕自身も何か楽しそうだなという気持ちにさせていただきました。

本多教育長 ありがとうございます。非常にインパクトのある、ですよ。これ、実は幼稚園とかでも「はてな」ということを大事にしてほしいとしたりしますよね。子どもたちが理科になって理科離れになるというのは、難しくなってくるというのがすごくあるんですけど、でも、中1の教科書の最初のとびらのところでこういう工夫があるというのは、まさに子どもたちが身近なもの、はてなと思うところから入れるんだなというところにつながるところがあって、確かに大胆ではありますけど、いい工夫なのかなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。今、様々御意見をいただいたところでありますけれども、これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、理科については東京書籍が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理したいと思います。探究的な学習の

充実が図れること、安全への記載等が充実していること、実験等のまとめ方に工夫が見られること、江東区での学びに生かせる記載があること、以上4つの理由によりまして、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、理科については東京書籍を採択することといたします。

続いて、音楽(一般)について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては、音楽(一般)の教科書の準備をよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 音楽科においては、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽科文化と豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指しております。

音楽は「一般」と「器楽合奏」に分かれており、「一般」における採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①学習の見直しを持ちやすくする工夫について、②対話的な学びについて、③合唱の指導について、④キャリア教育について。

以上でございます。

本多教育長 それでは、まず、音楽(一般)について御審議いただきたいと思えます。御意見がありましたら、よろしく願いいたします。

本田委員。

本田委員 教育芸術社を開いてみると、目次の後の学習の初めのページ、8ページ、9ページですけれども、「表現」と「鑑賞」というところで、どんな力が身につくのかというのが大きく掲載されていて、どの学習によって、どんな力を身につけていくのかというのが示されています。そして、このページには、「音色」、「リズム」といった音楽を形づくっている要素についても説明がなされていました。音楽を聴いたり感じたりするときに、音楽を形づくっている要素ということを意識することが大切なのではないかなと思いました。

そして、教育出版では、巻頭のページに「学習マップ」というところがあって、これも8ページ、9ページですけれども、学習する曲や活動ごとに身につける力、関連する学習ページというのが掲載されていました。そして、学習の進め方として、「音楽を形づくっている要素」というのが示されていました。

どちらの教科書も示し方に違いは少しあるものの、どの学習によって、どんな力を身につけていくのかといった見通しを持たせながら、音楽を形づくっている要素について記載されているところは共通していて、すごく大切な視点だなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。最初の中1のところの導入で、先が見通せるような音楽の授業をどうやっていくのかとか、両社とも丁寧に記載されているかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 今、本田委員から「音楽を形づくる要素」というお話がありましたけれども、2社とも1年の教科書に「音楽を形づくる要素」について関連するページがあります。

教育出版は63ページですけれども、教科書の後半で要素について説明するとともに、「きらきら星 変奏曲」を通して、気づいたことや感じ取ったことを話し合う学習を設定しています。

教育芸術社は91ページに、1年間の学習を振り返って、音楽を形づくっている要素の理解を深めるようになっていて、改めて、それぞれの要素について詳しく説明しています。これまでの学習を生かすことができ、学びやすそうだなと思います。

もう1点、教育芸術社は表紙のイラストがすごくよくて、音楽は楽しいなという感じのする教科書だなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 教育芸術社は、歌唱や鑑賞のそれぞれの学習ページでも、ページの左下に、「音色」、「リズム」、「テクスチャ」、「構成」など、その学習で意識してほしい「音楽を形づくっている要素」が示されていました。

また、「学びのコンパス」というページがありまして、「自分たちの表現を工夫しよう」として、より学習を深める活動が設定されています。ここにも注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素が記載されています。こうした工夫は、音楽のよさを感じ取ることにつながるのではないかと思います。

本多教育長      ありがとうございます。ここまで、音楽を形づくっている要素について御意見いただいたところで、音楽の考え方として非常に重要な視点でして、それが子どもたちにとっても、指導する教員にとっても分かりやすいということで、今、安部委員から御指摘があったような記載であったり、鈴木委員から御指摘があった記載、様々なことを両社共に工夫されているところなのかなと思います。実際に子どもたちが学びやすい教科書になっていくといいのかなと思いますね。

ほかの視点でも構いません、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員      教育出版、教育芸術社共に、巻頭のページには、子どもたちが知っている音楽に関わる有名な方の写真と言葉が掲載されているのは、子どもたちにとって、よい工夫だと思いました。

教育芸術社は、この後、続くページに「音楽ってなんだろう？」として、音楽と直接に関わっていない方にとっての「音楽」について掲載されていました。見開きで掲載しているのもいいと思いました。「音楽とは何なのだろうか？」と、その子なりの考えを持つことで、あまり興味のない子どもにとっても、学びたいと思える工夫だと感じました。

本多教育長      ありがとうございます。今御指摘があったこと、ここもすごい工夫されているなと思いましたね。子どもたちは、先ほどの鈴木委員の表紙のイラストもそうですけど、開けたときに、最初のところに何が載っているかというのは、子どもたちが学習に取り組むときには非常に重要なと思いますね。

教育芸術社は、ぱっと開けると、上白石萌音さんが1年生、最初のところにありますけど、多分、子どもたちもよく知っている方なので、うまく載せているなと思いました。今、浅野委員から指摘のあったその次のページに、さらに音楽と直接関わらない人たちにとっての「音楽」という、この視点というのも、まさに、さらに工夫があって、浅野委員もおっしゃいましたが、音楽は得意な子もいれば、そうでない子もいたりする。でも、自分たちの生活の周りには音楽がたくさんあって、それがつながっていると考えると、あ、そうかと気づくところにつながっていくのかもしれないですね。とてもいい工夫なのかなと思いました。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員      教育芸術社は、「歌い継ごう日本の歌」として、日本の新旧の名曲を掲載していました。「歌い継ごう日本の歌」というキャッチフレーズが、なかなかいいんですよ。また、その後の「心通う合唱」というのもひかれました。「合唱」と一くくりにしてしまうのではなく、「歌い継いで

いく」、「心を通わせる」とすることで、ただ歌うのではなく、合唱のよさが意識できるのではないかなと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。安部委員のおっしゃられる一くくり、ただ合唱というのではなくてというのは大事なことなのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 今の、確かに「歌い継ぐ」って、すごく大事かなと思っています。少し前からワードが出ている音楽で学んだことを生活に結びつけるということも、やっぱり大事だなと感じています。どちらの教科書にも「社会とのつながり」を意識したページはありましたが、特に教育芸術社の「生活や社会の中の音楽」というページがあって、「仕事と音楽」で取り上げられている職業には、医療や介護、ギター職人など、こどもたちにとってより実感しやすい、興味を引く内容になっているなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、御指摘があったように、大抵いろんなところで出てくるんですけど、学習したことがどうつながっていくかという部分ですね。いろいろな職業であったり、様々なところでつながっていくという部分では、直接、音楽との関わりのある部分もあれば、そうではない部分もあるというところで、様々なあるかと思います。特に「生活や社会の中の音楽」だけではなく「音」や「音楽」、「音」というところでも広がる、そういうものもあるのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、これまでの皆さんの御意見を伺ってきましたけれども、音楽（一般）については教育芸術社が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの整理をいたします。音楽を形づくっている要素についての記載の工夫があること、学びやすい教科書の構成となっていること、音楽と生活や社会とのつながりを実感させる学習に取り組みやすいこと、以上3つの理由により教育芸術社を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、音楽（一般）については教育芸術社を採択することといたします。

続いて、音楽（器楽合奏）について審議をいたします。委員の皆様

おかれましては、教科書の準備をよろしく申し上げます。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 教科の狙いについては、先ほど音楽（一般）での説明と同様となります。

なお、「器楽合奏」における採択資料作成委員会で話題となった主なポイントについては、①器楽における学習内容について、②学校における楽器の指導について、③二次元コードについて。

以上であります。

本多教育長 それでは、音楽（器楽合奏）について、御審議いただきたいと思えます。御意見がございましたら、お願いいたします。

本田委員。

本田委員 楽器を演奏するというのは、とにかく楽しく演奏してもらおうということが大切だろうなと感じています。そのためには、完成したらどんな演奏になるのか、どういうことができるようになるのか、そういったことが分かると、こどもたちは練習したくなるかなと思います。そういう意味で、見通しを持つというのが、やはりこの教科、どの教科でもそうですけど、大切だと思っています。

教育芸術社では、目次の後の学習の初めのページに、身につく力が大きく掲載されています。どの学習によって、どんなことができるようになるのかということが分かります。音楽（一般）でも話題になった「音楽を形づくっている要素」というのも示されています。こどもたちがどんなことを大切にしながら取り組むといいのかというのが分かるように、見通しを持つことができる工夫というのは、やっぱり、いいものだなと感じております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、リコーダーに注目してみました。リコーダーの音色はとてもいいですが、細かな指の動きをするのは難しい子もいると思います。小学校のときもリコーダーの演奏をしていると思いますが、中学校でも基礎を丁寧に取り扱うことは大切だと思います。

リコーダーの学習ページを見てみると、どちらも指使いを取り上げて

いて、とても分かりやすいと思いました。基礎から確認できるようになっていることが大切だと思います。

両社とも左手のみで演奏して、その後に両手で演奏する流れは同じでした。

教育芸術社は、レッスンワンからレッスンフォーまで段階を設定していて、基礎からだんだんと上手になるような工夫がされていると思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。ここまで、見通しを持つというあたり、それから、リコーダーの指導ですね、基礎・基本の話がありましたけれども、リコーダー、小学校のときから、こどもたちは使っているところがあるんですけど、中学校になるとアルトリコーダーとしたり、今、浅野委員からもありましたけど、得意な子も、もちろん下手な子もいて、様々な子がいると思うので、そういった部分では、丁寧に記載されていたり、改めて1回小学校でもやってきたことも振り返りながら指導できることも大事なのかなど、そういった部分では丁寧さも大事ですよ。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、楽器指導について注目して見ました。伝統や文化が今も大切にされている江東区だからこそ、和楽器の演奏についても、こどもたちはしっかりと学んでほしいと思います。江東区の中学校では、三味線や琴を使って学習している学校が多いと伺っております。三味線の学習ページを見比べてみますと、教育出版は48ページ、初めに「姿勢とかまえ方」という大きな写真を掲載しています。基本的な技術を見につけるには、まず、きちんとした姿勢と構え方を覚える必要があると思います。

教育芸術社は46ページ、まず、「三味線の演奏を聴こう」、「楽器を知ろう」、「三味線のさまざまな演奏」などが書かれていまして、実際に演奏を聞くことや、歌舞伎や文楽の伝統文化に触れられるものとして、とてもいいと思います。他の和楽器のページを見てみると、同じような構成となっています。演奏ができることも大切ですが、日本の伝統を大切に作る心を育ていく工夫が書かれているので、教育芸術社はすばらしいなと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 鈴木委員のお話しされていた「伝統文化」、とても大切にしたいと思

いますが、それに加えて、子どもたちにとって身近な楽器を取り上げるということも大切に感じました。生活の中で触れたり、見聞きしたりする楽器を取り上げると、子どもたちの興味・関心を高めることにつながるかなと感じています。

そういった意味では、教育芸術社の27ページには、ギターの学習にエレキギターを掲載しています。50ページの太鼓の学習には、ドラムセットのように並べた太鼓を掲載しています。私も最初見たときは普通のドラムセットと思ってしまったんですけども、そのぐらいすごく豪華なもので、興味を引くんじゃないかなと感じています。68ページは「バンドの世界をのぞいてみよう」ということで、バンド演奏用の楽譜が掲載されています。子どもたちが楽器を演奏することに魅力を感じやすいような教科書の構成になっているのではないかなと感じました。随所にポイントとなっているQRコードもきちんと載っているので、学習しやすいのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。和楽器のところから現代的なところまでつながってお話がありましたけれども、確かに今御指摘があったところ、大事な視点ではありますよね。子どもたちが和楽器に触れるという部分では、どういうふうに演奏していけばいいかというのも大事なところかなと思いますし、また、ギターのところ、ギターをやっている学校もあったりしますが、実際にエレキギター、そのページの下のところには、安部さんとか私たちですとエリック・クラプトンとか、その辺の写真もありますが、現代的な中学生にとってはテイラー・スウィフトの写真が載っていたりとか、そういった興味・関心を高めるということもあるのかなと感じているところです。

様々、御意見をいただいているところですが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、これまで皆様の意見を伺っていましたが、音楽（器楽合奏）については教育芸術社が適しているのではないかなと思います。いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 よろしいでしょうか。

それでは、これまでの意見を整理いたします。見通しをもって学習に取り組むやすいこと、基礎、基本の習得を図りやすいこと、楽器の指導に関わる教科書の構成に工夫があること、以上の3つの理由により教育芸術社を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、音楽（器楽合奏）については教育芸術社を採択することといたします。

続いて、美術について審議をいたしますので、委員の皆様におかれましては、美術の教科書の御準備をよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 美術科においては、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①現実的な課題について、②実生活との関連について、③生徒の興味・関心を高める資料について、④生徒に育成すべき資質・能力について。

以上であります。

本多教育長 それでは、美術について御審議いただきたいと思います。御意見がございましたら、よろしく願いいたします。

本田委員。

本田委員 これもほかの教科と全く同じですけれども、子どもたちが主体的に学習していくことが大切であると考え、この教科においても、各社とも学習の目標が観点別に記載されているかなと思います。各社とも、この単元で何を学ぶのかが分かりやすい工夫がされていました。

例えば開隆堂出版は、キャラクターの吹き出しでポイントを示していました。

日本文教出版は、生徒の作品が多く掲載されていて、「表現のヒント」ですとか「造形的な視点」、主体的な学びを促す工夫がされていました。

光村図書出版では、掲載作品から吹き出しをつけて「ポイント」が示されています。

それぞれ非常に工夫があつて、学習の目標に関連した学びというものが意識しながら主体的に学習ができるだろうと考えます。

そして、人物画の学習ページを見てみると、日本文教出版と開隆堂出版には、学習用端末を活用して、人物の特徴を捉える方法が記載されていて、やはり、これも子どもたちが主体的に活動に取り組むことにつながるだろうと想像します。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 どの発行者も、作品とともに「作者の言葉」として、作者の作品に対する思いが書かれていました。特に生徒さんたちの作品の思いを見ますと、同じ中学生がどのような思いで制作したのか知ることができるのはよいと思いました。

各社、生徒さんの作品を掲載されていましたが、日本文教出版は、「外国の生徒作品」が掲載されていたのも大変興味深かったです。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、本田委員、そして浅野委員からお話がありましたけど、教科書にこどもたちの作品が載っているというのはとても大事なことで、実際に自分たちと同じようなこどもたちがどんな作品をつくったのかなというところでは参考になるというところもありますし、刺激になるのかなと思います。そのところについての記載の仕方、様々な工夫というところのお話がありました。海外のこどもの作品というのは視点が違って面白いのではないかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 各社とも生徒の活動の様子や制作物の写真が多く掲載されているなど感じています。また、作品資料が大きく掲載されているのがとてもいいと思っていまして、開隆堂出版、2・3年生の46ページには、「ゲルニカ」が見開きで大きく掲載されています。

日本文教出版の2・3年生の下巻の26ページからは、「ゲルニカ」が観音開きで大きく掲載されています。

光村図書出版にも、2・3年生の61ページに観音開きで大きく掲載されています。

日本文教出版には、中学生のシルエットが掲載されていて、この作品の大きさを実感しやすく工夫されています。さらに、その上に、同じページに「作者の言葉」という欄がありまして、こちらには個人的には心打たれたなというか、思いが伝わるというのも大事なことなのかなと、作品の背景みたいなものも感じ取れましたので、いいなと思いました。

光村図書出版には、ピカソのサインが入っているというのも、ちょっと珍しいなと思いました。大きな資料は生徒の興味や関心が高まる気がしています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。各社共に「ゲルニカ」を扱っているというところがありますけれども、大きさはそれぞれ違いますけれども、どの社も大きいんだということを伝えたいということで、大きく掲載されてい

るところかと思いますが、今、安部委員から説明があったように、それぞれ工夫して違うところ、確かに、実際にどれくらい大きいのかという部分では、日本文教出版ですかね、中学生の平均身長シルエットと一緒に載っているというのは、これは確かに比較しやすいという気がしますね。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 各社とも、江東区に関連する資料を掲載しております。

開隆堂出版は、1年の63ページに「東京都現代美術館収蔵室」の写真が掲載されています。

光村図書出版には、2年、3年の38ページに「亀戸梅屋敷」の掲載があります。

日本文教出版は、2年、3年の25ページに同じく「亀戸梅屋敷」、そして31ページには「亀戸天神境内」、また、さらに2年、3年の15ページには「のらくろ軍曹」の「象狩」が掲載されています。歌川広重も田河水泡も江東区ゆかりの画家、漫画家でありまして、子どもたちの学びに対しては、非常に興味を引く絵ではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。先ほど来、いろいろと出てきますけれども、江東区の子どもたちにとって、江東区のことをこうやって教科書に取り上げられているというのは、非常に親しみがあるというか、学習しやすいというか、そういったところではありますね。先ほど、のらくろの「象狩」の話もありましたけど、いろいろな視点で見っていくと、江東区、様々取り上げていただいている、面白いなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 生徒が楽しく活動に取り組むためには、安全に関する指導は必須ではないかと考えています。どの教科書も、様々な表現技法や道具の使い方について、イラストや写真と合わせて示しています。

光村図書出版は、美術1の別冊としてまとめられている中に掲載されています。

開隆堂出版や日本文教出版は、巻末に安全面の配慮について掲載しています。

開隆堂出版は2年の69ページ、日本文教出版は1年の64ページに、「彫刻刀」の使い方について掲載しています。「注意しよう」や「注意マーク」を記載して、写真とともに示していました。文章だけの記載よりも視覚的に理解を深めることができますので、生徒が安全に注意しな

がら活動することにつながるのではないかなと思います。

以上です。

本 多 教 育 長     いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員     今、安部委員からお話がありましたけど、彫刻刀は力を入れて使うので、けがをしやすいのではないかとということで、関連するページを見てみますと、日本文教出版の写真は、手の置き方が具体的に掲載されています。とても分かりやすいので注意喚起につながる、とてもよい表現だと感じました。

本 多 教 育 長     ありがとうございます。今、安全面のことがありましたけれども、私も指導の経験があるんですけど、彫刻刀って、切れないと、余計けがしたりするんですね。ただ、今、安部委員や鈴木委員からありましたように、手をここに置かなければ絶対切らないということで、指導のポイントとしてはすごく大事なんですね、どこに手を置くかという。そういった部分では、安部委員からの話で、言葉だけではなくて写真でというのと、鈴木委員からもありましたけど、具体的にそれが目に見えるという部分は大事なのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、今までの皆さんの御意見を伺っていきますと、美術については日本文教出版が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本 多 教 育 長     よろしいでしょうか。

それでは、これまでの意見を整理いたします。生徒の主体的な活動を促すための工夫があること、生徒の興味・関心を高める題材が充実していること、安全面の配慮についての記載が従事していること、以上の3つの理由により日本文教出版を採択したいと思いますが、御異議ございますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本 多 教 育 長     御異議ございませんので、美術については日本文教出版を採択することといたします。

それでは続いて、保健体育について審議をいたしますので、委員の皆様におかれましては、保健体育の教科書の準備をよろしく願います。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 保健体育の学習においては、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習課程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①日々の生活と学習内容との関連について、②生徒が活用しやすい資料について、③熱中症に関する資料について、④基礎・基本の定着を図ることについて。

以上であります。

本多教育長 それでは、保健体育について御審議いただきたいと思います。御意見がございましたら、よろしく願いいたします。

鈴木委員。

鈴木委員 保健体育の学習では、体育編と保健編に分かれていて、体や心の健康について学ぶと認識しています。こどもたちが学習の進め方を理解して、見通しを持って学ぶとともに、学習課題を自分事として捉えて、主体的に学べる教科書がよいと思います。

大修館書店、大日本図書は、「課題をつかむ」ところから「まとめ・振り返り」までの学習の道筋が見開き2ページで分かりやすく示されています。

東京書籍の「見つける」、学研の「ウォームアップ」では、こどもたちが主体的に課題を見つけられるように工夫されている教科書だと思います。

本多教育長 ありがとうございます。ずっとどの教科も話題になっている主体的にこどもたちが学べるためにということでの教科書の工夫というもので、今御指摘があったように、確かに、それぞれ工夫があったかなと思っています。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 心身共に健康であるということは非常に大事だなと思っています。心の検討というところにおいては、1年生で「ストレスへの対処」という単元があります。感受性の強い子や中学生という多感な時期のこどもたちにとって、様々な場面でストレスを抱えたり、不安になったりすることがきっとあるだろうと思います。その原因であったり、対処法につい

て、各社とも具体的に記載されている点は、やはり、いいなと感じています。

学研や大修館書店では「リラクゼーションの方法」というページもあって、実習のページがあります。これはぜひ、授業の中で子どもたちに体験してもらって、日常的に取り組めたらいいなと感じています。

以上です。

本 多 教 育 長      ありがとうございます。リラクゼーションの実践ですよ。こういった問題が今、ストレス社会と言われてはいますが、子どもたちも今、確かにストレスを抱えているところもあったりして、それを実際に自分でリラックスするための方法を保健体育の中でも行っていくというところでは、とても大事な内容なのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員      今の本田委員に私も同感ですけれども、今年度から「こどもかがやきプラン」に基づいて、全ての子どもたちが生き生きと学校生活を送ることを大切にしていこうということですが、生き生きと学校生活を送る上では、子どもたちがストレスへの対処法を実感を伴う形で学んでいくことは大変有意義だと思います。小学校から進学したばかりの中学校1年生は、新しい環境でストレスを抱えることが多いと思いますので、この時期に、改めて不安や悩みへの対処方法を知ることが大切なことだと思います。ストレスチェックの表などもある学研の教科書、うちの子もこれやってみたんですが、これ見たんですが、定期的に取り組むといいのかなと思います。とても教材としてはいいのではないかなと感じました。

以上です。

本 多 教 育 長      ありがとうございます。今、安部委員、御指摘のあった66ページですね、学研、ストレスチェックの表、確かにありますね。大人も健康診断でストレスチェックを最近やったりしていますけど、子どもたちも今、安部委員がおっしゃったように、定期的に自分自身をチェックしていくということもとても大事な事なのかなと思います。今、「こどもかがやきプラン」の話もありましたけれども、今年度、「Action 24」ということで取り組んでいますので、子どもが自分の心の変容を含め、ちょっと気づいたときに先生にすぐお話ができる、そういった部分では、こういったチェックを自分でしていくというの、客観的に自分を見つめることもできるし、具体的に何回かやるということで変容が見えるというのは、確かにあるのかなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 各社とも、学んだことを生活に生かすことができるように工夫しているなど思いました。

東京書籍と大日本図書は、熱中症警戒アラートや気象情報など、必要な情報の集め方について、丁寧に書かれています。

学研や大修館書店は、事例を基に、自分ならどうするかという視点で考えるようにしています。学んだことを生活に生かすという保健体育の目標に添った学習の設定がされているように思います。いいことだと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今日も非常に暑いですが、最近は、本当に学校で熱中症警戒アラートについて見たりとか、WBGTを測ったりとかしているの、こどもたちも非常にそういったことに対しては敏感になってきているところはあると思うんですけど、実際に、学校にいて、先生にこういうふうにしなさいねと言われていた中だけで生活しているわけではないですし、登下校の最中もそうですし、それが生活に生かせるような、とても大事な視点かなと思いますね。特に今、浅野委員から御指摘があった熱中症に関わるところで、また大事な視点なのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 今、浅野委員から、学んだことを自分たちの生活に生かすという点では「熱中症の予防」という学習は大切だと思います。現代の社会の問題になっている熱中症について、未然に事故を防ぐ意味でも、しっかりと学んでほしい内容です。

東京書籍は、熱中症の手当の仕方が具体的に示されています。

大日本図書、大修館書店、学研では、多くの資料が熱中症が起こるまでの環境についてや体の適応能力について紹介されています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、鈴木委員から、対処の仕方というのも大事ですよ。実際に、これは熱中症かなと思ったときに、自分でそれを見つける、または友達同士で互いに声を掛け合えるとかというのも、とても大事な視点なのかなと思いますね。

これまで、ストレスへの対処、それから今、熱中症のことで健康と環境ということで御指摘があったかと思います。

そのほか、御意見いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 様々なスポーツについて紹介されているページに注目して見ました。  
例えば、東京書籍や大日本図書の1年生、「スポーツの多様性」という単元がありますけれども、スポーツはするものという認識が強いと、どうしても苦手意識を持つ子もいるかなと思います。ただ、各社とも、スポーツはするだけではなくて、見る楽しさ、支える楽しさ、そして知る楽しさなど、様々な視点で記載されているのいいなと思って、そこからまた、ボランティアの参加とか、そういうところもつながってきたらいいなと思いました。  
以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。まさに、つい先日までオリンピックが開催されていたところで、子どもたちも改めて、オリンピックというのをまた身近に感じたと思うんですけど、江東区ではオリンピック・パラリンピック教育をずっとやってきた中で、今まさに本田委員から御指摘があった支えるスポーツと見るスポーツと様々な視点で、あっ、そうだったなと振り返ることが、保健の学習でそれを改めて学び直すということも大事なのかなと思いますね。  
ほか、いかがでしょうか。  
安部委員。

安 部 委 員 私も本田委員がおっしゃったところと同じ単元についてですが、子どもたちが主体的に学んだり、学びを深めたりするという点では、掲載している写真や資料もとても重要だと思います。  
そういった点では、学研では、車椅子バスケットボールやアダプテッドスポーツなどの多様なスポーツが掲載されています。  
大修館書店では、ゆるスポーツや超人スポーツなど、スポーツの新しい楽しみ方が掲載されていて面白かったです。スポーツの多様性や新しいスポーツの紹介を多くの資料とともに掲載していて、いいなと思いました。先生方にとっても、良質な資料が掲載されていると指導しやすいのではないかなと感じています。  
以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、安部委員から御指摘があったゆるスポーツとか超人スポーツであったり、また、アダプテッドスポーツ、様々な視点で見ていきますけれども、これから、オリンピックが終わってパラリンピックがありますけど、江東区では、それぞれ様々な学校で、実はアダプテッドスポーツに取り組んでいる中学校もあったり、また、小学校なんか全部、ボッチャをやったりとかしていますので、そういった新たなスポーツであったり、また、スポーツにどう関わるかという取組

方というのも、とても大事なところなのかなと思います。多様な見方でスポーツを楽しむこと、そういったことについての紹介なのかなと思います。生涯にわたる豊かなスポーツライフとか言われているところですが、そういった部分を保健体育としてしっかり学んでいくことが大事なかなと思っています。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、皆さんのここまでの御意見を伺ってまいりましたけれども、保健体育の教科書については学研が適しているのではないかなと思いますが、御意見いかがでしょう、よろしいでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたしますと、生徒の主体的な学習を促すため、課題の提示の仕方やまとめに工夫があること、生徒が学習したことを生活に生かす工夫があること、スポーツの多様性や楽しさに関する資料が充実していること、以上3つの理由により学研を採択したいと思いますが、御異議ございますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、保健については学研を採択することといたします。

以上で、本日予定しておりました教科等の教科書についての審議は終了いたしました。

ここで、改めて本日の協議で採択を決定した教科用図書について、教科等名、発行者名を確認させていただきたいと思います。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。数学、東京書籍。理科、東京書籍。音楽（一般）、教育芸術社。音楽（器楽合奏）、教育芸術社。美術、日本文教出版。保健体育、学研。

以上、各教科用図書の採択結果について確認させていただきましたけれども、ただいまの採択結果について、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ありませんので、本日御協議いただいた教科用図書について、ただいま確認させていただいたように決定いたします。

冒頭、指導室長から説明がありましたけれども、次回は、社会（地図的分野、歴史的分野、公民的分野）、地図、技術・家庭（技術分野、家庭分野）、英語、特別の教科道徳、そして、特別支援学級について御審議いただきたいと思っております。

以上で本日の審議が終了いたしましたので、傍聴人の方は、事務局の指示に従い、御退室願います。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和6年第3回江東区教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。